

♪♪♪ 文京区青少年対策向丘地区委員会の活動方針 ♪♪♪

おはよう!
こんにちは!
ありがとう!

向丘地区対

文京区青少年対策向丘地区委員会

向丘地区対の活動理念

向丘地区対は、

地域 みんなで手をつなぎ

明るく元気な青少年の育つ環境作りと

楽しい事業を通じてたすけあいの心を

大切にする地域づくりをすすめます。



『あいさつ・声かけ』運動

向丘地区対は、学校・町会・ボランティア学生などと連携を図り地区対事業の交通安全教室・プール開放・バスハイク・環境浄化推進・ケーキ作り等を通じて、地区対委員からあいさつ・声かけをすすめて…みんなで元気なあいさつをかわせるように取り組んでいきます。

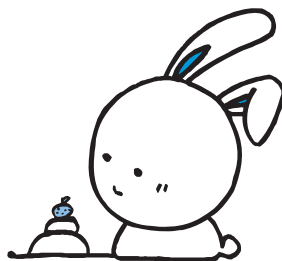
★向丘地区対の主な事業★

自転車交通安全講習会とおもちつき

自転車の正しい乗り方、ルール、マナーを本富士警察署より指導してもらい、自転車事故の未然防止を図っています。また、受講した子どもたちには文京区自転車運転免許証を発行しています。

この事業は、地区対の他、学校・PTA・警察・ボーイスカウトなどの協力により実施され、地域全体で青少年健全育成に取り組んでいく意識の向上にも役立っています。

さらに講習会の後は、つきたてのおいしい「おもち」が待っている、子どもたちにとっては「お腹いっぱい」の大満足な事業です。



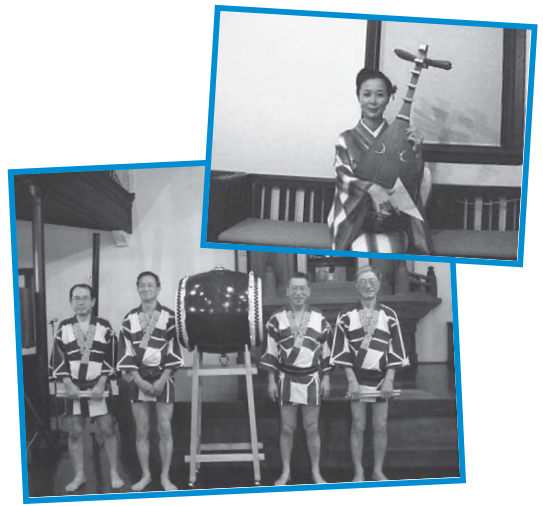
プール開放

区立第六中学校のプールを開放して、子どもたちや家族の方に、思いきり水に親しんでもらう機会を提供しています。新しい親子の参加も年々増え、家族のふれあいの場として、また子どもたちの体験の場として定着しています。

環境浄化推進事業

学校や警察、関係機関などとの連携を図りながら、子どもたちを取り巻く多くの問題について、毎回、様々な角度から考え、地域全体で青少年健全育成に取り組む環境づくりを目指しています。

平成 21 年度は琵琶や和太鼓演奏を通じて、地域の方向士のコミュニケーションを図りました。



クリスマスケーキ作り

「家庭の日」啓発事業として、クリスマスケーキ作りを通じた、親子のコミュニケーションのきっかけを提供しています。スタッフには中学生ボランティアも参加し、世代を超えた仲間作りの場としても活用されています。

合同行事

～地域の枠を越えて～



九地区合同行事「文の京こどもまつり」

「家庭の日」啓発事業として、毎年1回（11月第2日曜日）9つの地区が合同で「文の京こどもまつり」を実施しています。青少年対策地区委員会の一大イベントとして、また親子のふれあいの場として定着しています。

機関誌「やんぐ」

青少年対策地区委員会の取り組みをより多くの方に知ってもらうための機関誌「やんぐ」を年2回発行しています。行事に参加した子どもたちや保護者の感想など、多くの人の声を取り入れています。

★「はじめの一步！（文京区青少年育成プラン）」とは★

文京区青少年問題協議会では、青少年健全育成施策に関する行政や地域関係団体の行動指針となる「はじめの一步！（文京区青少年育成プラン）」を策定しました。青少年対策地区委員会では、本プランの趣旨に基づいた青少年健全育成施策の推進を図っています。

★地区対（ちくたい）って何？★

青少年対策地区委員会（通称：地区対「ちくたい」）は、町会、保護司会、民生委員・児童委員協議会、PTA、青少年委員会、体育指導委員会など、多くの関係者で構成されています。「家庭の日啓発事業」や「環境浄化推進事業」を実施するなど、地域における青少年健全育成施策の中心的役割を担っています。